

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）（KS27）について（口頭要請）

令和8年9月29日（火）に北関東防衛局から、「令和8年10月19日（月）から10月29日（木）まで令和8年度日米共同統合演習（実動演習）を実施する。陸上自衛隊及び米陸軍の空挺部隊が、米軍の輸送機（C-130J）によって、習志野演習場及び日出生台演習場上空から空挺降下訓練を実施するため、離発着場として横田基地を使用する。横田基地において、米軍航空機C-17に対する自衛隊装備品の搭載検証を実施する。航空機により沖縄から搬送された傷病者を米軍横田基地を經由し、陸自車両により近隣自衛隊病院へ搬送する訓練を実施する。陸上自衛隊及び航空自衛隊の部隊が米軍横田基地に展開し、米軍とともに夜間訓練、空包使用を含む基地等警備訓練（施設防護及び対空掩護）を実施し、基地ゲートを閉鎖する予定がある。また、PASの使用予定がある」との情報提供がありました。

従前より、当連絡会からは、通常の運用時間帯以外での訓練を極力実施しないよう求めてきました。

また、夜間訓練での空包の使用による騒音は、基地周辺の住民の不安を助長するとともに、睡眠等が妨げられるなど、その影響は非常に大きなものです。

こうした基地周辺住民の生活環境への影響を踏まえ、次のとおり要請します。

- 周辺住民への不安軽減を図るため、特に、通常の運用時間帯以外で実施される騒音を伴う訓練については、その詳細な日時等について情報提供を行うこと。
- 通常の運用時間帯以外での訓練や航空機の運用を極力実施しないこと。
- 夜間早朝に空包やPASを使用しないこと。
- 基地の外に影響を及ぼさないよう十分な配慮を行うこと。
- 安全対策の徹底と事故防止に万全の措置を講ずること。
- 騒音が大幅に増加することがないように基地周辺住民に十分配慮すること。特に、夜間及び土曜日・日曜日については、徹底すること。
- 市街地上空での低空・旋回飛行訓練は行わないこと。
- ゲート閉鎖に伴う周辺道路への混雑等の影響が出ないように、努めること。

令和8年10月1日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

ダニエル E. メンドーザ大佐 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	酒井大史
昭島市長	臼井伸介
福生市長	加藤育男
武蔵村山市長	山崎泰大
羽村市長	橋本弘山
瑞穂町長	山崎栄

幹事 立川市長 酒井大史